

ぜん息重症度の経年変化に及ぼす因子の検討

1 目的

説明変数に欠損値を1つも含まない認定患者のデータを用いて、ぜん息重症度の改善または悪化に影響を及ぼす因子を探索する。

2 対象

令和2年度認定患者（平成30年度と令和2年度を比較して重症度が改善または悪化した患者）
15歳以下 131人 16～64歳 3,100人 65歳以上 1,969人

3 方法

令和2年度の認定患者のぜん息重症度がそれぞれ、前回の申請時から改善したか、悪化したかについて、生活環境整備に係る項目のうちどの因子が影響を与える可能性があるか調べるため、ロジスティック回帰分析を適用させた。変数の選択は、p値を用いたステップワイズの変数選択（減少法）を行った。

4 解析

(1) 目的変数

重症度 改善／悪化（1／0）

(2) 説明変数の選別

ア 以下の因子について、ロジスティック回帰分析に組込むべきか Fisher の正確確率検定により選別を行った。15歳以下、16～64歳、65歳以上の認定患者についてそれぞれ解析を行った。

因子： 質問21-1～20の生活環境整備 実施／未実施（1／0）

イ Fisher の正確確率検定で選別された因子

15歳以下	質問21-4	床は水拭きしている
	質問21-8	カーペットやじゅうたんは使用していない
	質問21-9	布製のソファは置いていない
16～64歳	質問21-6	カーテンは、年に2～3回以上丸洗いしている
	質問21-11	布団のシーツやカバーには防ダニ製品を使用している
	質問21-12	月に1～2回以上、カバーやシーツの洗濯をしている
	質問21-14	週に1回以上、寝具に掃除機をかけている
	質問21-16	定期的に天日干ししている
	質問21-17	天日干しした後、布団に掃除機をかけている
	質問21-18	マットレスをたてかけて風通ししている
65歳以上	質問21-20	ベッドパットは2～3か月に1回以上丸洗いしている
	質問21-2	週に1回以上、床に掃除機をかけている
	質問21-4	床は水拭きしている
	質問21-5	寝室の掃除には、5分以上かけている
	質問21-8	カーペットやじゅうたんは使用していない
	質問21-11	布団のシーツやカバーには防ダニ製品を使用している

5 結果

4 (2) イで選別された因子を説明変数とし、ロジスティック回帰分析を行ったが、重症度の改善に影響を与えていると考えられる因子は見いだされなかった。